二学期に向け 先生も猛勉強！

二学期開始の前日、町内の先生方が上ノ国中学校に集まりました。毎年、夏・冬休みに実施している『児童生徒実態交流会』が開かれました。

テーマは保・小・中・高連携

全国的な問題として小学校に入学した児童、中学校に進学した生徒が、学校生活になじめない、ついていけないなどの困難を抱えがちなことが問題になっています。「小1プロブレム」「中1ギャップ」、さらに「高1クライシス」などと言われ、克服に向けた取り組みが必要とされています。上ノ国では3年前からこの課題に的をしぼって検討し、大切なことは保・小・中・高お互いの連携であることを確かめ合ってきました。

全体会のようす

子ども理解の場を大切に

交流会は、会長・溝口滝沢小学校長の開会挨拶、金子教育長の来賓挨拶のあと、滝沢小・高宮先生、上ノ国小・山崎先生、上ノ国中・梶先生の提言を受け、10人ほどのグループに分かれての分散会という方法で進められました。

分散会では、「集団生活になじめない」・「生活習慣が身についていない」児童、「部活を含む学校生活や授業のスピード」について行く体力・気力にとぼしい生徒のことなどが検討されました。

そのため、小学校は保育参観、中学校は小学校の授業参観などを通して、早くに子どもたちの抱える課題を把握すること、さらに保・小間、小・中間の綿密な引き継ぎと交流により、一人一人の子どもの理解を深め、ギャップを埋めていく取り組みの大切さを再確認し合いました。翌日からの二学期にさっそく役立つ情報交換と交流の機会となりました。

上ノ国町に井上雄彦氏が来町 観音堂の円空仏を見学

8月7日(水)に漫画「スラムダンク」や「バガボンド」でおなじみの漫画家、井上雄彦氏が円空仏の見学のため来町しました。

井上氏は現在東京の出版社と連携して、全国各地にある円空仏を見学し、その地域のゆかりのある方々と対談する企画をおこなっています。

生涯12万体もの仏像を全国を行脚しながら彫り続けた円空上人。各地の仏像と対面しながら、円空という人物はどのようなものであったのか、なぜ仏像を彫り続けたのか、作品はどのように変化していったのかということが今企画のテーマとなっています。

前回は円空上人の故郷である岐阜県のお寺で後期型の荒々しい迫力のある仏像を取材しています。今回は前期型の表情の柔らかな仏像が多く残る北海道に注目しました。

取材は観音堂を守る上ノ国観音講の皆さんを交えておこなわれました。観音堂には高さ約百二十センチもある「十一面観音立像」と三十センチほどの「観音座像」の2体の円空仏があります。明治時代の神仏分離令の際、観音講の方の家の地下のムロに隠したため、仏像を破壊されずに済んだ話や、昔から円空仏は地域の方々から愛されている話に、井上氏は「円空さんの彫った仏様が昔から地域の人にこんなに大事にされていて、今もそれがずっと続いていることは大変素晴らしいことであるし、これからも愛し続けようという思いが肌に感じられる。円空さんの話をしている時の皆さんの表情がそれを表している。一朝一夕ではない厚みを感じる」と大変感動していました。

観音講の皆さんと井上雄彦氏(中央)

図書だより

図書新着ごあんない

＊月下上海（松本清張賞受賞）	山口	恵以子／著
＊ソウルメイト	駈星	周／著
＊島はぼくらと	辻村	深月／著
＊ドミノ倒し	貫井	徳郎／著
＊はるひの、はる	加納	朋子／著
＊残月（みをつくし料理帖）	高田	郁／著
＊丕緒の鳥（十二国記）	小野	不由美／著
＊泣き童子	宮部	みゆき／著
＊宰領（隠蔽捜査５）	今野	敏／著
＊昨夜のカレー、明日のパン	木皿	泉／著
＊高校入試	湊	かなえ／著
＊野心のすすめ	林	真理子／著
＊北海道水辺の生き物の不思議	川井	唯史／編

絵本の読みきかせ

9月25日（水）　午後3時ごろ～

＊新しく入った絵本を中心に読みます。

時　間：（火～土）午前9時30分～午後5時15分
（日･祝祭日）午後0時30分～午後5時15分
休館日：毎週月曜日、年末年始
場　所：**上ノ国町民図書室**（ジョイ・じょぐら内）